

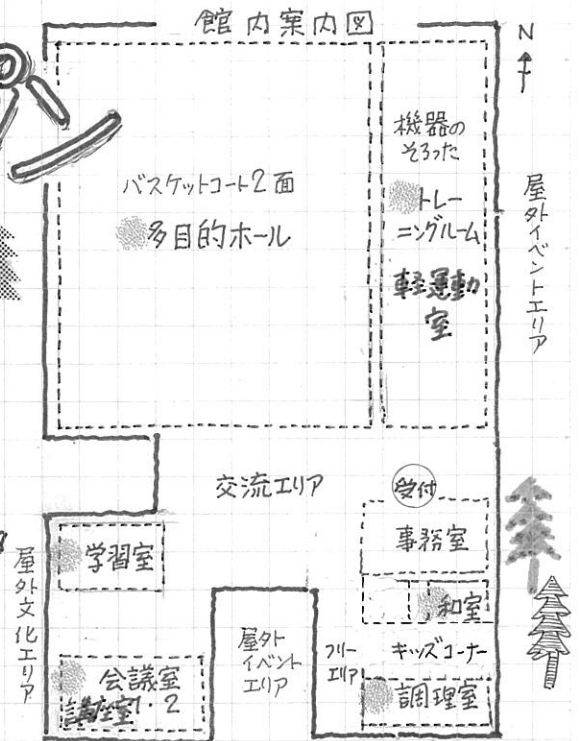
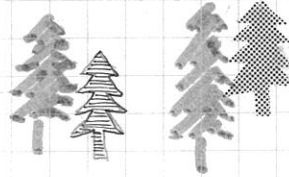
みよし協働のまちづくり

発行// みよし市役所協働推進課 32-8025
NPO法人あいしNPO市民ネットワークセンター
●サポセンへの登録は年中受け付けています。

みよし市

みなよし交流センター オープン

2020年、みなよし地区のみなさんが参加して施設の機能や役割について、さらに、2024年、完成してから使い方やイベントの内容についてワークショップを重ねてきました。そして、2025年、みよし市2か所目となる地区拠点施設がオープンしました。このセンターは、大人から子ども、学生やお年寄りの方まで幅広い方々の活動を支援することを目的としています。



報告

— みよし市・中日新聞社 共催 —

《 みよし交流センター開館記念イベント 》

備える! 中日サバイバルキャンプ 2025

2日間で災害に備える大切さを学びと体験で実感しました。ここでは、みよし市企画の「食」と「私の備え、はじめの一步」の内容を報告します。ぜひ、言試してみてください。

日時// 10月18日(土)~10月19日(日) 1泊2日
場所// みなよし交流センターと南部コミュニティ広場。
対象// 小学1年生から中学生とその保護者。
内容// 防災講演とレクチャー、避難所体験など

1 子どもの防災パッククッキング Pack Cooking!

●日時// 10月18日(土) 17:00~ ●参加者// 子ども(小1~中3) 47人

●内容// 夕食メニューづくり ●みよしの味の鶏めし防災バージョン、温野菜、冷たいおにぎり・パンを温かく



参加者の声

これなら、できる!
コンビニおにぎりを
あたため
みる。

暗い中でも
なんとかできました。
空気を抜くのが
大変でした。



「パッククッキング」とは・・・耐熱性のポリ袋に食材と調味料をいっしょに入れ、空気を抜いて、しゃぶり、鍋などで湯せんして、調理する方法です。

2 私の防災ボトルを作ろう。

● 日時 // 10月19日(日) 8時・9時・10時
(3回実施)

● 参加者 // 大人 37人 子ども 38人

企画・実施 // NPO法人あいちNPO市民ネットワークセンター



水に強い
丈夫!!

いつ起きるかわからない災害に備えて
日頃から自分のライフスタイルに合わせた
防災グッズをボトルに入れて持ち歩
ると とても心強いし役立ちます。

この日のスケジュール

1. 防災ボトルって、何?
2. 防災グッズの説明
- ③ 私の防災ボトルを作ろう
4. ふりがえり(アンケート)



③...この日は用紙に書かれたものを
ボトルに入れました

私の防災ボトルに入れるもの..

- 衛生 ● (マスク、圧縮タオル、ポケットティッシュ、など)
- 情報・連絡 ● (ホイッスル、連絡用メモ、筆記用具、など)
- 医療・環境 ● (常備薬、お薬手帳、アルミシート、など)
- 便利グッズ・貴重品 ● (現金、車輪ゴム、コンビニの袋、など)
- 飲み物・食料 ● (のどあめ、チョコレート、など)

* スマホなどが使えない時に備え、連らく用のアナログメモも大切です。

アンケートの結果から..... Q. いいボトルが作れましたか?

A. はい..... 大人 35、子ども 34
まあまあ..... 2、4

参加者の声

大人Aさん
防災ボトルを
使って災害に備
えるアイデアが良い。
家族で話し合っ
て、ボトルに詰めて
みたい

家以外の時も
自分の備えがほしいと思っ
ていたので、^{私の}ボトルが
作れてよかった

子どもBさん

こういうボトルが
もしかして
命をつなぐかもしれ
ないと思った。

子どもCさん



気づいたことで
気持ちが動いて
行動力になる!

自分のボトルを作ったら、
家族や友人のボトルも
一緒に作ろう!

27歳Aさん

市民活動サポートセンター内の
掲示板・ラックにあなたの団体の活動情報を
掲示して みませんか?

★希望される方は受け付けスタッフまで
お申し出ください。

★困り事、判らない事、気軽に
ご相談ください。



＜周辺案内地図＞ N ↑

